

あらゆる文書機密保護のニーズにお応えします

ナカバヤシのシュレツダシリーズは、プライベート用小型シュレツダから大型システムシュレツダまで幅広いバリエーションをご用意しています。特に文書機密保護とリサイクルを両立させる当社独自のP-CUBEコンパクトやエコポリスパンは、古紙回収ネットワークとの連携で、より高いリサイクル効果を発揮することが可能となりました。

環境問題に取り組もうとする企業様や官公庁様の多様なニーズに対し、オーダーメイドで最適なソリューションをご提供いたします。



お困りの点が簡単に解決できる方法をご提案します!

使用済み重要文書の取り扱い、セキュリティについて (複数選択可)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 焼却している (社内・社外) | シュレツダ処理している (社内・社外) |
| ゴミとして廃棄している | 機密漏えいの不安がある |
| 現状の処理方法を変えたい | 処理業務に社員の手がとられている |
| 信頼できる委託先を探している | 委託コストが高い |
| 社内の設備投資や経費にコストがかかり過ぎる | 現状で満足・安心している |
| その他 () | |

具体的な相談をしたいので、説明に来て欲しい () 月 日頃希望)

見積が欲しい

今すぐの案件ではないが、今後のために詳細を聞きたい

パンフレットが欲しい 下記より、ご希望のパンフレットをお選びください

- | | | | |
|------------|----------|------------|-----|
| パピルスネットワーク | 出張細断サービス | 持ち込み細断サービス | |
| オフィスシュレツダ | 大型シュレツダ | メディアシュレツダ | 再生品 |

今後、このような案内は送らないでほしい

貴社名 お名前 (フリガナ)

部署名 役職名

ご住所 〒

TEL (内線:) FAX

e-mail address

ご記入ありがとうございました。そのままFAXにてお送りください。

FAX. 06-6930-6705

[編集発行] パピルスネットワーク事務局
大阪市城東区中央2丁目1-23 ナカバヤシ株式会社内
TEL:06-6930-6660 FAX:06-6930-6705

処理文書から機密情報 流れ出していないか?

パピルスネットワーク誕生の背景

ナカバヤシ株式会社は大正12年(1923年)の創業依頼、図書館製本、手帳、アルバム、ファイル、ノート等、紙製品を中心とした事業で教育・文化活動とビジネス社会をサポートして参りました。

地球環境問題が大きくなってきている今日、私たちはこれまで日常的に廃棄、焼却が繰り返されてきた多くの古紙に再生の道を拓くべく、かねてよりオフィス古紙のリサイクルに全力で取り組み「パピルスネットワーク」として展開を始めています。

紙製品メーカーのナカバヤシ、購入仕入れ先である製紙会社、原料を供給する製紙原料会社、長年に渡って培ってきた信頼関係をもとに三者が三位一体となり、ここに持続発展可能な循環型リサイクルネットワークを構築することができました。

処理文書の機密保持とリサイクルを 両立させたシステムづくり

万一の機密情報の漏洩は、企業の存在そのものを脅かしかねません。その意味でオフィスにおけるシュレツダの役割は想像以上に重要です。また、シュレツダの利用は、そうした機密保護の役割だけでなく、企業レベルでできる環境保全・省エネルギーへの第一歩であると私たちは考えます。

パピルスネットワークのオフィス古紙回収網は、機密保護とリサイクルのトータルソリューションを通じて、企業における環境負荷の低減を強力にサポートすると同時に、明日の地球環境を考えたシステムとして環境型社会の実現を目指します。



個人情報保護法 平成17年4月全面施行! プライバシーマーク制度の活用が大きなカギ

現在、高度情報通信社会(PC・インターネット・EDI・電子商取引・モバイル...)の到来により、大量の情報が瞬時にいきまわっています。また、WEB上での情報蓄積や情報収集を容易に出来るビジネス環境をはじめ、社会全体が活用し、益々広がりを見せています。反面、これらによりそれらにアクセスする個人の情報は、「消費者という立場」「住民という立場」「従事者という立場」等、様々な場面で何気なく情報を供給しているというリスクが発生しています。つまり情報蓄積、収集が容易な分、情報の流用も瞬時に行えるという非常に危険性の高い環境が隣り合わせに生活の中で存在しているということになります。過去の口コミや紙での情報伝達とは異なり、一瞬にして大量の情報が不特定多数へ広がることから、これらの個人情報はコントロール不能状態になりえるということを、活用する側も提供する側も再認識することが迫られています。

このような中、我が国では既に「プライバシーマーク制度」を活用した取り組みが始まっています。この制度は、通商産業省(現 経済産業省)の個人情報保護の取組みを受けて、民間事業者が積極的に推進する自主的な規制、努力にインセンティブを与え、我が国の個人情報保護を一層促進させるための手段として、事業者団体と協調して実施するものです。同制度で認定を受けた事業者は、個人情報の保護を推進できる事業者として大きな信頼を勝ち取り、また情報主体である個人は、提示されるプライバシーマークによって個人情報の取扱いが適切な事業者であることを容易に判断することが可能となります。

更なる高度情報通信社会が浸透し、個人情報保護法への取り組みが顕著に現れ始める中、「プライバシーマーク」は、あらゆる事業内容、規模、エリアに関係なく、個人情報を取り扱う事業者や団体では、必要不可欠なマネジメントツールとなりつつあります。

ナカバヤシ株式会社では、オフィスの使用済み重要文書の細断サービスを通して、機密の確実な処理とリサイクル(パピルスネットワーク)をご提案しています。個人情報の保護、企業機密の漏洩防止、さらには環境に配慮したグリーン調達を通して、プライバシーマークの取得をはじめISO14001の導入にいたるまで、新時代のオフィスづくりを広くご支援できるものと確信しております。

個人情報保護法ガイドラインに明記された 機密文書の破砕処理は、 事業者の必須業務です!!



個人情報漏えいの実態

事件

某エステ会社では、5万人の個人情報が閲覧可能となっていて、嫌がらせの電話などが個人にかかってきた。専門のクレーム処理班が金銭で対処しましたが、現在約数十名が訴訟を起こしています。信頼は失墜し、顧客も激減しました。

事件

某大手コンビニ会社は、56万人分の顧客リストが流出しました。その内リストに記載された15万人分全員にお詫び状と500円の商品券を送りました。損害コストは商品券だけで7,500万円になりました。膨大なコストがかかり、信頼のがた落ちです。

事件

某大手テレビショッピング会社は、約66万人分の顧客データのうち、約半分が流出している可能性があるとして発表。流出経路を明らかにし、刑事告訴・告発を検討しています。この事件をきっかけに信頼性が大きく落ちたと言えます。

機密漏えい問題の多発を受け、

「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」発表(H16.6)

「手続の明確化と手続に従った実施」項目に、
個人データが記録された媒体の物理的な破壊(例えばシュレッダー、メディアシュレッダー等で破砕する)と明記されました。



つまり、個人情報(機密情報)の保護は、 企業の存続に関わる重要課題なのです!!

プライバシーマーク制度について

概要

個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークの使用を認める制度です。

目的

消費者の目に見えるプライバシーマークで示すことによって、個人情報の保護に関する消費者の意識の向上を図ること、適切な個人情報の取り扱いを推進することによって、消費者の個人情報の保護意識の高まりに応え、社会的な信用を得るためのインセンティブを事業者に与えること。

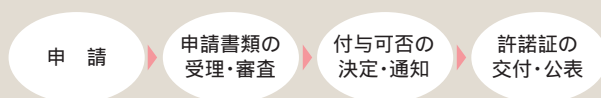
付与機関

財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)

有効期間

一回の認定による有効期間は2年間。

手続



申請

日本情報処理開発協会または指定機関に申請書類一式を郵送するか、直接持参。

審査

CPと関連規程類の整備状況、体制状況及び運用状況の視点から審査されます。

付与後の実態調査

必要に応じて個人情報の取扱いに関する監査報告や立入り調査を求められることがあります。



マークを使用できる場所等

- ・店頭 ・契約約款
- ・説明書
- ・宣伝 / 広告用資料
- ・封筒 ・便箋 ・名刺
- ・ホームページ 等

プライバシーマークについて詳しくは、日本情報処理開発協会のホームページ <http://www.jipdec.jp> をご覧ください。

処理文書からの機密漏えいを防ぐために 目の前で確実に抹消できる 細断が効果的です!!

パピルスネットワーク
細断サービス/シュレッダ

必要な時だけ利用できる
エコポリスバン出張細断サービス



大量の保存文書の細断には
持ち込み細断サービス

各種メディアの
機密文書抹消に
メディアシュレッダ

大好評!!

必要な時だけご利用いただける出張細断サービス / 持ち込み細断サービス

エコポリスバンの出張細断サービス



ナカバヤシでは、大型シュレッダーをお持ちでないお客様でも機密漏えいの防止と紙資源リサイクルが行えるシステムをご用意しています。

大型シュレッダーを搭載したトラックで出向き、使用済み重要文書、機密文書をその場で細断・減容化する出張細断(裁断)車「エコポリスバン」で、企業機密を守るとともに確実にリサイクルします。

【写真】お客様との約束の日に現地へ出動します。細断文書は軒下までご準備ください。駐車するスペース(約9m x 4m)の確保をお願いいたします。

【写真】強力破砕ユニットはコンパクトながら驚異のカット力と高速処理。お客様自らの手と目で機密抹消の事実をご確認いただけます。(お客様立ち会いのもと、作業員による処理も可能)

【写真】細断古紙は、かく拌・圧縮されてストックルームに貯留されますので、機密保持の精度はさらに高まります。

【写真】細断・圧縮された破砕文書はすべて持ち帰り、製紙会社へ。再生紙製品としてリサイクルされます。

【利用実績】

中央官庁、県庁・出先機関、市町村・出先機関、郵便局、農協、銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、信販会社、大学、高校、中小学校、病院、生活協同組合、一般企業 他多数

お客様にお聞きしました!!

A市 総務部 文書管理担当様

平成14年度にこの出張細断を導入しました。ちょうどその前年、ISO14001の認証を取得し環境対策に取組み始めた時期でした。燃やすよりリサイクルできる方向で何か...と考えていた中、パピルスネットワークの「細断 溶解 再生」というリサイクルの流れが私たちの求めていたものとちょうど合致していました。デモに来ていただき、どういうものなのかを実際に確認し実感できたことが導入の決め手となりました。何より、目の前で機密情報書類が細断されていくのを見届けられるという安心感が、全職員の指示を得ている理由です。年一回、7月の全庁一斉文書廃棄の際に来ていただいています。今年で3回目、細断文書だけで約14~5トン丸3日かけて処理していただきました。オペレーターの方とも気持ちのよいやりとりで、処理量の急な変更にも迅速に対応していただけたので、ネットワークがうまく機能している印象を感じます。

このシステムは、とても画期的なものだと思いますし、このようなリサイクルの流れがもっと大きなものになればと思います。